

# 富山リハビリテーション医療福祉大学校

## 令和 7 年度 学校関係者評価報告書

令和 8 年 7 月

学校法人青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校では、教育理念・教育目的をはじめとする教育活動および学校運営全般について自己点検・自己評価を実施し、「令和 7 年度 学校自己点検・自己評価報告書」を取りまとめ、本校ホームページに公表いたしました。

また、学校関係者評価委員会においては、本校に関係する企業・業界の皆様ならびに教育関係者の皆様から、本校の教育活動および学校運営について、専門的かつ多角的な視点から貴重なご意見・ご提言をいただきました。

これらのご意見・ご提言を踏まえ、「令和 7 年度 学校関係者評価報告書」として取りまとめましたので、ご報告いたします。

本校では、委員の皆様からいただいた貴重なご意見・ご指摘を真摯に受け止め、教育活動および学校運営の改善・充実に積極的に取り組んでまいります。今後も、社会のニーズに応えられる人材の育成と、教育の質の保証・向上に向け、教職員一同、より一層努力してまいります。

関係者の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学校法人 青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校

校長 野口 貴史

### 1 学校関係者評価の目的

本校では、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、教育活動及び学校運営について自己点検・自己評価を実施するとともに、その結果について学校関係者評価委員会による評価を受け、教育の質保証及び継続的な改善に取り組んでいます。

令和 7 年度自己点検・自己評価の結果をもとに、学校関係者評価委員会において学校運営全般についてご意見・ご助言をいただきましたので、その概要を公表いたします。

### 2 学校関係者評価委員会の概要

#### 項目 内容

開催日時 令和 8 年 7 月 23 日（木）16:00～17:30

開催場所 富山リハビリテーション医療福祉大学校 会議室

評価対象 令和 7 年度自己点検・自己評価

## 項目 内容

評価方法 自己評価報告書に基づく説明、質疑応答及び意見交換

### 委員構成

| 評価委員    | 所 属                | 役職名  |      |
|---------|--------------------|------|------|
| 西能 淳    | 特定医療法人財団五省会        | 理事長  | 外部委員 |
| 荒井 公浩   | 学校法人荒井学園           | 理事長  | 外部委員 |
| 小平 達夫   | 学校法人富山国際学園富山短期大学   | 教 授  | 外部委員 |
| 青池 浩生   | 学校法人青池学園           | 理事長  |      |
| 野口 貴史   | 富山リハビリテーション医療福祉大学校 | 校長   |      |
| 宮川 孝芳   | 富山リハビリテーション医療福祉大学校 | 副校長  |      |
| 護摩堂 秀之助 | 富山リハビリテーション医療福祉大学校 | 学科主任 |      |
| 石原香代子   | 富山リハビリテーション医療福祉大学校 | 教員   |      |
| 町田 愛名   | 富山リハビリテーション医療福祉大学校 | 事務主任 |      |

### 3 学校関係者評価（総合評価）

学校関係者評価委員会では、本校の教育理念に基づいた教育活動及び学校運営について総合的に審議を行いました。

委員からは、国家試験合格率向上への取組、就職支援体制、学生支援、地域医療との連携、地域貢献活動、AI・ICT活用、医食同源を生かした特色ある教育について高い評価をいただきました。

一方で、作業療法士・介護福祉士志願者増加、学校の魅力発信、卒業生ネットワーク教職員組織力、AI時代を見据えた教育改革について、更なる充実が期待されました。

### 4 評価項目ごとの評価

#### （１）教育理念・目標

「医食同源」の理念のもと、人間性と専門性を兼ね備えた医療人育成が実践されている。

#### （２）学校運営

情報共有や業務改善が進められている。今後は組織力向上と人材育成を推進する。

#### （３）教育活動

教育課程編成委員会を中心にカリキュラム改善が継続されている。

#### （４）教育成果

国家試験・就職実績は概ね良好。退学防止対策も強化されている。

#### **(5) 学生支援**

スクールカウンセラー・保護者連携など支援体制が充実している。

#### **(6) 教育環境**

ICT 環境・防災・国際交流など教育環境整備が進められている。

#### **(7) 学生募集**

高校連携・SNS・OC 等による募集活動を推進している。

#### **(8) 財務**

健全な財務基盤を維持している。

#### **(9) 法令等の遵守**

法令遵守・個人情報保護・情報公開は適切に実施されている。

#### **(10) 社会貢献・地域貢献**

地域医療・スポーツ・福祉との連携活動を積極的に展開している。

### **5 学校関係者評価委員会からの主な意見**

#### **高く評価された点**

- 理学療法学科国家試験合格率 100%
- 全国平均を下回る退学率
- 医食同源を生かした教育
- 地域医療との連携
- AI 活用
- 学生支援体制
- 地域貢献活動

#### **今後期待される事項**

- 作業療法士・介護福祉士養成の充実
- 卒業生ネットワーク構築
- AI 時代に対応した教育改革
- 学校広報の充実
- SNS・動画活用
- 地域唯一の OT 養成校としての魅力発信
- 教職員組織力向上

### **6 令和8年度重点改善事項**

学校関係者評価委員会からいただいた意見を踏まえ、本校では次の7項目を重点目標として取り組みます。

- ① 国家試験合格率 100%
- ② 就職率 100%

- ③ 学生募集強化
- ④ AI・ICT 教育改革
- ⑤ 学生支援体制充実
- ⑥ 地域・医療機関との連携強化
- ⑦ 卒業生ネットワーク構築昨年度の意見への対応状況

## 7 校長総括

学校関係者評価委員会では、多くの建設的かつ実践的なご助言をいただきました。委員からは、医療・福祉分野はAI時代においても人に寄り添う専門職として重要性が高く、本校の存在意義はますます大きくなるとの評価をいただきました。

本校では「すべては学生のために」を教育の基本姿勢とし、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育を推進しています。

今後も、自己点検・自己評価と学校関係者評価を学校改善のPDCAサイクルとして活用し、地域医療・地域福祉を支える専門職を育成するとともに、地域社会から信頼される専門学校づくりを推進してまいります。